



# USER MANUAL



## 各コントロールについて

**VOLUME** プライマリー・コンプレッサー・セクションのマスター・ボリュームとして機能します。COMP ノブと BLEND ノブを変更した場合、全体のレベルを同じに保つために VOLUME コントロールを変更する必要があります。コンプレッサー回路の不要なクリッピングを避けるため、高いレベルのコンプレッションを使用する場合は、VOLUME コントロールを 3 時の位置以下に保ってください。

**BLEND** クリーン信号とコンプレッション信号をブレンドします。反時計回りに回すとフルコンプレッションになります。時計回りに回しきると、クリーン信号がフルになります。  
ヒント：COMP ノブを最大にして、BLEND コントロールでコンプレッションの強さを調節してみてください。ノートの後端にサステインを加えながら、自然なアタック感を奏でます。

**COMP** 時計回りに回すとコンプレッションが強くなります。BLEND と VOLUME コントロールでバランスを取ります。

**BASS** 低域を 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カットを行う。

**MIDDLE** 中域を 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カットを行う。中心周波数は 660Hz です。

**TREBLE** 高域を 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カットを行う。

**BLOOM** BLOOM フットスイッチをオンにしたときのブースト量を設定します。また、Program Fade モード時の Bloom フェードタイムの設定にも使用します。ブルームが作動している場合、BLOOM コントロールを回すと BLOOM の LED の明るさが変化し、ブースト量を示します。

**COMP FOOTSWITCH** コンプレッサー回路を ON/OFF します。

COMP フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、COMP LED が点滅し、コンプレッション・プログラム・モードがアクティブになります。COMP フットスイッチを短く押し、コンプレッション・プリセットが 1-6 までを循環し、各プリセットのサウンドを試すことができます。使用したいコンプレッション・プリセットが決定したら、COMP フットスイッチを 1 秒以上押し続けると、そのプリセットに決定され、コンプレッション・プログラム・モードが終了します。

コンプレッション・モード終了時に、選択したコンプレッション・プリセットが記録されます。

**BLOOM FOOTSWITCH** ブースト機能を ON/OFF します。

BLOOM フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、ブルーム機能（ブースト・レベルまでゆっくりフェードイン）が作動します。逆も同様です。ブースト設定からフェードアウトするには、BLOOM フットスイッチを 1 秒以上押し続けます。

設定したブースト・レベルに達するまでの時間を設定するには、COMP と BLOOM フットスイッチを同時に 1 秒以上押し続けると、ランプ・プログラム・モードがアクティブになります。このモードでは、BLOOM ノブが一定間隔で、BLOOM LED がオフからフル・ブライต์までゆっくりとフェードします。BLOOM ノブを反時計回りに回しきった位置で 1 秒、時計回りに回しきった位置で 5 秒のフェードタイムが設定できます。COMP と BLOOM フットスイッチを同時に 1 秒以上押し続け、ランプ・プログラム・モードが終了し設定が保存されます。

**EQ FOOTSWITCH** EQ をアクティブにするには、COMP と BLOOM フットスイッチを同時に押します。



# USER MANUAL

## コンプレッサーについて

### コンプレッサーの特徴

- 広大なダイナミックレンジを持つトランスペアレント・オブティカル (LA-2A スタイル) リミッター回路。
- 即座にアクセスできる 6 つのプリセット
- 究極のスライド・トーンのためのデュアル・コンプレッサー。
- クリーン (非圧縮) トーンとコンプレッション・トーンをブレンドできるブレンド・コントロール。

### オブティカルリミッター

BLOOM はコンプレッサーとしてその透明性と繊細さで知られるオブティカル・リミッター回路を搭載しています。極端なコンプレッション設定で非常にアグレッシブなレスポンスを発揮し、オブティカル回路がサウンドの角を取り、トーンに穏やかな甘みと丸みを加えることができるのが真の強みです。

自然なサウンドとピッキングニュアンスを大切にするため、BLOOM では通常のコンプレッサーを使用せず、オブティカル・コンプレッションがギタリストのトーンに与える「卓越した」レスポンスを追求しました。

コンプレッサー・セクションの周波数特性はフラットで、高音域や低音域をブーストしたりカットしたりすることなく、ギター信号のダイナミクスを変化させます。優れたコンプレッサーは、聴こえるものではなく、感じるものなのです。

### コンプレッションプリセット

高機能なコンプレッサーの多くは、アタック、リリース、レシオ、ニーなど、多くのノブがあり、コントロールが難しく感じることがあります。私たちはできるだけシンプルにどのセッティングが自分が演奏しようとしている音楽のスタイルに最も適しているかを探せる方が良く考えました。

すべてのプレイヤーが同じとは限らないし、すべての曲が同じセッティングが必要でもないため、微妙なものから極端なものまでのプリセットを用意しました。BLOOM では次の曲のために完璧なコンプレッション設定を素早く選択することができます。

COMP フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、COMP LED が点滅し、コンプレッション・プログラム・モードがアクティブになります。COMP フットスイッチを短く押し、コンプレッション・プリセットが 1-6 までを循環し、各プリセットのサウンドを試すことができます。使用したいコンプレッション・プリセットが決定したら、COMP フットスイッチを 1 秒以上押し続けると、そのプリセットに決定され、コンプレッション・プログラム・モードが終了します。

各プリセットの詳細は右記をご参照ください。

**Preset 1** WHITE LED リミット・モード。超高速アタック (2.5ms) であらゆる信号をクランプし、リミッターとして機能。

**Preset 2** GREEN LED カントリー・モード。チキン・ピッキングやモダン・カントリーに最適なファストアタック設定 (7.5ms)。

**Preset 3** MAGENTA LED R&B モード。ミディアムアタック設定 (50ms)

**Preset 4** BLUE LED バラード・モード。スローアタック設定 (120ms)

**Preset 5** AQUA LED スライド・モード、別名「ジョーイ」モード。プライマリー・コンプレッサーの前に直列に追加の内部コンプレッション・ステージを追加。リトル・フィートのローウェル・ジョージのようなクリーン・ギター・パートで、ほぼ無限のサステインを可能にする。

**Preset 6** ORANGE LED Aux コンプレッサー。Aux コンプレッサーは、プリセット 5 で使用された内部コンプレッサー回路です。ペダル側面にある 2 つのトリマーで COMP と VOLUME を調整できます。

各コンプレッション・プリセットごとに、LED の色が設定されています。LED の光量はコンプレッションのかかりに対して変化し、演奏がハードになるほど、また COMP コントロールの設定が高いほど、より激しく変化します。

### スライドモード別名「ジョーイ」モード - デュアルコンプレッション

BLOOM の設計段階で、スライド・プレイヤーだけでなくギタリストにとっても理想的なコンプレッサーとは何かについて、ブラザーズ・ランドレスで有名なスライド・マスター、ジョーイ・ランドレスに相談しました。彼と何度もやり取りをした結果、ギタリストのための究極のコンプレッサーを作るには、伝説的なローウェル・ジョージのスライド・トーンを目指し、2 つのコンプレッサーを直列に接続するオプションを追加する必要があることが分かりました。

リトル・フィートのバンドリーダー / シンガーソングライター / ギタリストであるローウェル・ジョージは、2 台の Urei 1176 コンプレッサーを直列に使用することで、彼のギターに限りなく近いサステインを与えながら、クリスタル・クリーンなサウンドを維持していたことで有名です。

コンプレッション・プリセット 5 または "スライド・モード" に設定すると、Aux コンプレッサー回路が、プライマリー・コンプレッサーの前に直列に配置されオンになります。2 つのコンプレッサーを直列に使用することで、音はほぼエンドレスにサステインし、クリアでクリーンなままハーモニック・フィードバックが発生することもあります！まるでオーバードライブペダルを踏んでいるような "感覚" ですが、クリーントーンで、無限のサステインが得られます！

### クリーンブレンド

コンプレッションサウンドをより繊細にしたい場合、BLEND コントロールを搭載し、コンプレッションされた信号にクリーンな信号をブレンドすることができます。

BLEND コントロールの最大の特徴の 1 つは、プレイヤーがアグレッシブなコンプレッションを設定し、クリーンな信号をブレンドすることができる点です。これにより、自然なアタックを与えながら、高いコンプレッション設定から得られるサステインを得られます。



# USER MANUAL

## MIDI 機能

私たちは常にプレイヤーからのフィードバックを製品開発の主要な原動力としており、前作 BLOOM の発売後、MIDI を追加すれば完璧なコンプレッサーになるとの要望を多数いただき、BLOOM v2 は最もフレキシブルなコンプレッサーとなりました。

## 使用ケーブル

本機で MIDI を使用するには、MIDI (DIN-5) コネクタを TRS ケーブルに変換する 6.35mm(1/4") TRS Type A 仕様ケーブルが必要です

BLOOM v2 は TRS (チップ、リング、スリーブ) コネクタの RING 接続で MIDI 情報を受信する、Type A 仕様を採用しています。

## MIDI チャンネルの変更

工場出荷状態では、MIDI チャンネル 1 が選択された状態です。変更するには、電源を入れながら、COMP と BLOOM フットスイッチの両方を押し続け、フットスイッチを押したまま、BLOOM ノブを下側に回すと MIDI チャンネル 1、上側に回すと MIDI チャンネル 16 チャンネル 2 ~ 15 がその 2 点の間に均等に配置されています。

LED が点滅し、選択した MIDI チャンネルを示します。(例: 7 回点滅 = MIDI チャンネル 7)。LED が点滅した後、LED の点滅が終わったことが分かるように、2 秒間のポーズを挿入しました。LED は 2 つのフットスイッチを押している限り点滅、停止を続けます。希望の MIDI チャンネルを選択し、点滅を数えて確認したら、2 つのフットスイッチを離すだけで、ペダルはこの MIDI チャンネルを保存し、再起動します。

## プログラムチェンジ (PC)、 コントロール・チェンジ (CC)

MIDI 機能へのアクセスは、プログラム・チェンジとコントロール・チェンジ (CC) の組み合わせで行います。以下は、MIDI でアクセスできる BLOOM の機能とそのアクセス方法のリストです。

PROGRAM CHANGE #1 – LIMITER MODE  
PROGRAM CHANGE #2 – COUNTRY MODE  
PROGRAM CHANGE #3 – R&B MODE  
PROGRAM CHANGE #4 – BALLAD MODE  
PROGRAM CHANGE #5 – JOEY (SLIDE) MODE  
PROGRAM CHANGE #6 – AUX MODE

CC #1 – COMP ON/OFF  
(value of 127 = ON /value of 0 = OFF)

CC #2 – EQ ON/OFF  
(value of 127 = ON /value of 0 = OFF)

CC #3 – BOOST ON/OFF  
(value of 127 = ON /value of 0 = OFF)

CC #4 – midiBoost ON/OFF  
(value of 127 = ON /value of 0 = OFF)  
midiBoost は、ブースト・レベルをコントロールするもの (MIDI またはペダルのブルーム・ノブ) を決定します。

CC #5 – midiBoost expression (value of 0-127)  
midiBoost expression はブースト・レベルを決定します。  
これは設定値でも、MIDI エクスプレッション・ペダルで表現することもできます。

## 3 BAND EQUALIZER について

### 3 BAND EQUALIZER の特徴

- 調節幅が広いスタジオグレード EQ
- 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カット
- ニュートラルまたはフラットに戻しやすいセンタークリック付き

### 3 BAND EQUALIZER の詳細

スタジオグレードの EQ が搭載され、驚異的な音色の柔軟性を実現しています。スタジオ EQ に搭載されている伝説的な Baxandall EQ をベースに、ギタリストが調節する必要のある全ての周波数に対応できるよう最適化調整しました。極端な設定にすると余計な高域と低域を除去し甘いトーンを奏でます。

## BLOOM について

### BLOOM の特徴

- 0-20dB ブースト可能 (BLOOM フットスイッチを短押し)
- 0-20dB フェードインアウト可能 (BLOOM フットスイッチを長押し)
- ツール・ブースト回路。反時計回りに回すとユニティーレベル。
- サブオーディオ周波数まで完全にフラットな EQ。
- プログラム可能なランプアップ / ダウンタイム。

### BLOOM の詳細

BLOOM フットスイッチを短押しすると、BLOOM ノブで設定された値のブースターとして動作します。また、BLOOM フットスイッチを押し続けると、BLOOM ノブでされた値までゆっくりとレベルを上げます。このフェードイン (徐々に音量が上がる効果) 時間はプログラム可能で、ホールドしている音のサステインを上げたり、曲のダイナミクスに合わせたり自由に設定が可能です。音量が上がりがきった後も Bloom フットスイッチを押し続けると、レベルがユニティーまでフェードアウトします。

### フェード時間の設定

設定したブースト・レベルに達するまでの時間を設定するには、COMP と BLOOM フットスイッチを同時に 1 秒以上押し続けると、ランプ・プログラム・モードがアクティブになります。このモードでは、BLOOM ノブが一定間隔で、BLOOM LED がオフからフル・ブライต์までゆっくりとフェードします。BLOOM ノブを反時計回りに回しきった位置で 1 秒、時計回りに回しきった位置で 5 秒のフェードタイムが設定できます。COMP と BLOOM フットスイッチを同時に 1 秒以上押し続け、ランプ・プログラム・モードが終了し設定が保存されます。